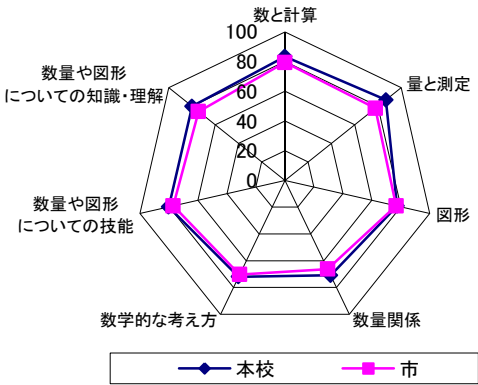


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	83.3	79.4
	量と測定	86.9	77.9
	図形	77.4	76.8
	数量関係	70.8	66.2
観点別	数学的な考え方	72.0	70.2
	数量や図形についての技能	80.3	77.1
	数量や図形についての知識・理解	79.9	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、83.3%と市の平均より高い。分数の計算や小数のたし算・ひき算の正答率が高いが、3けた×2けたのかけ算や概数については、市の平均より正答率が低い。	かけ算やわり算・概数については、繰り返し練習を行い、複雑な計算も正しく計算できるようする。3年生で学習した内容についても、練習問題を繰り返し解くことで習熟できるようにする。
量と測定	平均正答率は、86.9%と市の平均より高い。面積の計算が比較的よくできている。	角度や面積等、多くの練習問題を解く中で、知識の定着と技能の習熟を図る。実際に身のまわりにある様々な事物の角度を分度器で測ったり面積を求めたりすることで、習得した知識を活用することができるようにする。
図形	平均正答率は、77.4%と市の平均よりやや高い。作図や三角形についての知識はあるが、円と球についての正答率が低い。	円と球についての練習問題に取り組み、知識の定着を図る。作図させたり、実物に触れさせたりする活動を多く設定し、理解を深めるようにする。
数量関係	平均正答率は、70.8%と市の平均より高いが、四則混合の式や分配法則については、正答率が低い。折れ線グラフについては、正答率が高い。整理のしかたの二次元表を利用し、問題を解くことの正答率が低い。	四則混合や分配法則の計算練習を行い、計算の順序や計算の仕方についての理解が高まるようにする。整理のしかたについて、教科書教材を復習し、理解の定着を図る。